

はじめに

本書は Linux という OS（オペレーティングシステム）の基本的な操作方法を学ぶ入門書である。Linux は様々な場面で利用されているが、例えばサーバマシンの OS として広く採用されており、多くの IT エンジニアにとって、Linux を操作する必要があるのはサーバの設定や管理を行う場合である可能性が高い。

Linux の入門書は世の中に数多く存在しているが、そのほとんどが次のいずれかである。

- Linux の基本的な使い方（コマンド）を解説しているもの
- サーバ構築・設定について解説しているもの

前者は主に初めて Linux に触れる人を対象としており、サーバ構築まで言及しているものはほとんど見受けられない。後者はいろいろなサーバの構築・設定方法を解説するのが目的であるため、Linux の基本的な操作方法は既知であるとして解説されていないか、解説されていても必要最小限に留められているものがほとんどである。

筆者は専門学校で、IT エンジニアを目指す学生を対象とした Linux の実習授業を担当している。Linux の基本操作の習得に重きを置きつつ、最終的には簡単なサーバ構築作業が行えるようになることを目指した授業である。本書はそのような授業における教科書として、また独学用の教材として使用できることを意図して、以下のコンセプトで執筆したものである。

- 普段、Windows や Mac をある程度使っているが、Linux は初めて使うという人が対象
- Linux の基本的な操作方法（コマンドの使い方など）をていねいに解説
- そのうえで、最終的にはサーバ構築作業の基本（ごくさわりの部分）までをカバー

また、入門書という性質上、むやみに多くのコマンドや機能を紹介するのではなく、Linux を使用するうえで「まずこれくらいは知っておいたほうがよいだろう」と思われるものを厳選して取り上げている。コマンドの使い方を無味乾燥に列挙するのではなく、授業で学生に語りかけるような説明を心がけたつもりである。各章には章末問題を配置し、理解度の確認や復習がしやすいように配慮した。これから Linux を学ぶ人に、本書が少しでも役立てば幸いである。

2020 年 12 月

清水 博章

本書をお読みになる前に

本書で採用している Linux ディストリビューションは CentOS 7.9 です。また、動作確認は Windows10 の VirtualBox 環境で行いました（環境構築方法は付録 A を参照）。他のディストリビューションや実行環境では動作が一部異なる可能性があるのでご了承ください。

- 本書は情報の提供のみを目的としています。本書を用いた運用は、必ずお客様ご自身の判断と責任で行ってください。本書の内容に基づく運用結果について、著者はいかなる責任も負いません。
- 本文中に記載されている会社名、製品名、商品名などは一般に関係各社／団体の商標または登録商標です。本文中では、TM、®、©マークを明記していません。
- 本書記載の情報は、2020 年 12 月時点のものです。ご利用時には変更されている可能性があります。

本書の対象読者

本書は次のような方を対象読者として想定しています。

- Linux の基本的なコマンド操作を習得したい方
- Linux のサーバ構築・設定に興味がある初学者の方
- IT エンジニアを目指している方

逆に、本書の対象読者ではないのは次のような方です。

- 仕事や趣味で、すでに Linux をある程度使いこなしている方
→ 本書は入門書であるため、得るものは少ないかもしれません
- サーバ構築・設定の詳細情報を求めている方
→ 本書では SSH サーバや Web サーバのごく基本的な設定方法のみを扱っています
- 資格試験（LPIC、LinuC）の対策（問題演習）をしたい方
→ 本書は Linux 上で実際に作業が行えるようになることを目指したテキストです

本書の表記について

本書では、Linux 上でコマンドを実行した結果を、枠線で囲んで示しています。

\$ コマンド
コマンドの実行結果

コマンドのみを記載し、実行結果を省略している箇所では、枠線で囲まらずに示しています。

また、必要に応じて、「←」以降に補足説明を添えています。この部分は、実際に入力したり、画面に表示されたりするものではありません。